



どうか
この世に平和を
もたらして
くれ給え

そなたに勇者と
共に魔王討伐を
命じる

白の聖女
ソレーヌよ

はい、
御身のままに…



聖女と呼ぶに
相応しい

おお
ソレーヌ様
あの至高な
姿を見よ



ソレーヌ

早く
出発しよう



この身を
捧げてでも

必ずしも
人々に平和を…!!





…で、
その純白の聖女様も
こんなにエロい体を
持っていたわけだ。



好きなだけ
吠えなさい、
この外道

私はこんなことに
屈服しません



二ッ!!

これからその
汚れを知らない顔が
どう変わるのか
楽しみだ

けけけ
そうだよな

さすが聖女様だ





女女女...

か、体が...

女...

女...

おやおやっ

どうした、聖女様よ？

ちよい先までの
凛々しい顔はどうした？

早速
顔情けないがって...

体が熱い...!!

はっ

ス

ん

んん

ドコッ

ドコッ

ドコッ



声も甘くなっているぞ?

ちゅっ

ちゅっ



こんなの... どう耐えれば...?

暴力的きな快楽!!

おおっと

はぁっ

意外とまんこだな

ちゅっ

ちゅっ

さあさあ
次に
いきましようか

こんなの
入れちやったら…!

や、
やめなさい

こやつは魔界に
住んでいる淫虫でな

お
か
な
女
お

また…!!

女性の中で暴れるのが
大好きなやつだよ





どうしてこんなが
気持ち良いものが
入ってきたのにか
自分はいかなかったのか

おかし...?

おかしいんだろう??

まだいって...

え...?

はは...

はは...

ふ、ふさける...

それはな

先刻んだ
淫紋の
効果だよ

お女...

お女...

お女...

とんだけ
気持ちよくなっても、

とんだけ
いきたくなくても

俺様でなければ
絶対に絶頂できない

女あ

こういうことをしても
俺様が直接
手を触れたわけでは
ないからいくことは
できない

キヤあ

そんな……

勿論

カラカラッ

くイッ



当然、俺様は静肅な聖女様をいかすつもりはねーよ

さて
絶頂のない快樂地獄へようこそ





三時間ちよっとか…

ない表情に
ない表情に

そろそろ
欲しい物が
できたと思うが…



ふざ…け
ないでください…



私が…
折れることかと…?



は

は

は

は



いいでこそ
聖女様...

ま...
待て...
待ちなさい...

ちよ...

簡単には
落とせない

ブルブル

まあ...
時間は呆れるほど
あるからな



次に会う時も
そんな姿でいることを
期待するよ

おんひゃあ

キィ